

さいとう健 特集



さいとう健支部長への
インタビュー
平成26年11月発行

LIBERAL&DEMOCRATIC 自由民主

発行所: 自由民主党本部 定価1部108円(税込)毎週火曜日発行
住所: 〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話: 03-3581-6211(代表) ホームページ: <http://www.jimin.jp/>

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、比例関東ブロックで初当選。
平成24年衆議院総選挙において、千葉七区より二期目の当選。
環境大臣政務官を経て、現在、党副幹事長を兼務しながら、農林部会長として農林業の国際競争力強化に奮闘中。
〔趣味〕 ハンドボール、カラオケ、読書、映画
〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

自由民主党千葉県第7選挙区支部長・衆議院議員さいとう健さんに聞きました。

Q. 今までの議員生活で、最も充実感ある仕事は何だったですか？

さいとう健) まず、一番驚いたのは、昨年10月党の農林部会長に就任したことです。私は経済産業省に勤めておりましたが、同省と農水省は対立することが多かったものですから、まさか私が敵陣営に乗り込んでいくような形で、自民党の農林政策の責任者になるとは夢にも思わなかった(笑)。
ですが、逆に、新しい発想を吹き込むということにもなり、かつての対米交渉の経験を踏まえて、今のTPP交渉に一定のアドバイスをしたりできたことはよかったなと思います。

そして、何よりも、米の生産調整の見直しを40年ぶりに決めたり、60年ぶりの農協改革に道筋をつけたりと、大もめにもめながらも、歴史的な政策転換を成し遂げることができたのが最も充実感ある仕事ですね。

Q. それでは、最も情けなかった経験は？

さいとう健) 私自身のことではありませんが、やはり、今の国会のあり様には情けなくなることがよくあります。最近も政治と金の問題で我が党は御迷惑をかけました。このことについては弁明の余地はないのですが、しかし、ひとたびこういうことが表に出ると国会での政策論争が止まってしまう。こればかりになってしまいます。

この手のスキャンダルが出たときは、この件を議論する場と政策論争をする場と両方が同時に進行できるような国会にならないかと思えます。私は、やはり、国会は日本で最高の政策論争の場であって欲しいと思っていますので。

Q. さいとう健さんの、これまでやってきたことや政治家としてこれだけは成し遂げたいというこだわり、あるいは夢といったものを語っていただけますか？

さいとう健) これは、次ページ以降にありますので、是非ページをめくっていただければ幸いです(笑)。



農林水産委員会にて農林部会長として質問。

こんな夢をみました。

巨額だった財政赤字も着実に減少に向かい、
国民意識も向上してバラマキ的な予算は姿を消し、筋肉質な歳出構造の下で皆が知恵を絞り、
消費税は15%となっはいるが、将来が見通せる年金制度となって、
自己責任の下で各自が自らの将来に備え、
大いなる規制緩和の下で、各自が生まれ持つ力を最大限発揮して経済・芸術・文化・スポーツの世界で自己実現し、
道州制の下で道州間競争が活発化して行政がスリム化し、
地域社会は、コンパクトシティの下で、効率的でエコで温かい街となり、
人々が、思い思いのNPOに参加しながら社会貢献し、
企業は、世界最強の技術を持ち、国際的な全面展開をしながらも雇用と収益を国内に確保し、
中央政府は、外交、治安、医療・介護など全国ベースの社会保障制度の運営などに、優秀な国家官僚がスマートな行政を展開し、
憲法が改正されて、自分の国は自分で守るという自主独立の気風が国民全体にあふれ、
教育水準は再び世界最高水準で、
食料自給率は7割を達成し、
国政を担う政治家がクレバーで、なおかつ、[※]ノーブレスオブリージュの気概を持つ。

こういう国に私は住みたい。

衆議院議員 齋藤 健

※ノーブレスオブリージュ:身分の高い者はそれに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務があるという、欧米社会における基本的な道徳観。(参考)大辞泉



中小企業の皆さんとともに、

さいとう健は、零細企業の家で生まれ育ちました。小さい頃から、両親の並々ならぬ苦勞を見てきました。少しでも同じような家の皆さんの役に立ちたい、そんな願いが通産省(当時)という職場を選ばせました。中小・零細企業の皆様の声を国政の場に届ける。それは、さいとう健のライフワークです。

子育てをする皆さんとともに、
さいとう健も子育てを経験しています。いろいろなことがありました。子育てに関わる経済的な負担、防犯対策、働くママへの支援など、同じ子育て世代と一緒に考え、一緒に問題を解決していきます。さいとう健は、子育て支援の強い味方です。



高齢者家族の不安解消へ
共に考え、悩み、行動します。

さいとう健にも、80歳を過ぎた両親がいます。母は寝たきりです。高齢者のいる家族にとって、介護、医療、年金など、悩みはつきません。さいとう健は、これらの不安を少しでも和らげ、誰もが末永く安心して暮らせる社会を目指します。

後援会
入会は
コチラ

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)
〒270-0137 流山市市野谷665-40-103
TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224
E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所
〒100-8981
千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

